

◆学級活動（２）学習指導案 中・高学年 イ、よりよい人間関係の形成

１．題材名 「コロナで変化した親切」（『小さな親切』作文コンクール文部科学大臣賞受賞作より）

２．ねらい 友だちを差別したり偏見をもったりせず、仲よくできるようにする。

３．活動の実際

	児童の活動	指導上の留意点（○）と評価（☆）
導入 （つかむ）	<p>１．コロナ禍で人との接し方が変わったところを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手指の消毒をしないといけなくなった。 ・マスクをしないと話せない。 	<p>○人との接し方が変わってしまった、新型コロナについて意識を向けさせる。</p> <p>○事前にアンケートを取ったり、データを提示することも考えられる。</p>
展開 （さぐる）	<p>２．「コロナで変化した親切」を読んで話し合う。</p> <p>①図書館でのお母さんの反応について。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気持ちはわかるけど、いいのかな。 ・仕方がない。 <p>②おじいさんの家に行かなかったことについて。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しかたがない。 ・おじいさんは寂しそう。 ・きちんと予防して行けばいいと思う。 <p>③「新しい生活様式」について、どう思うか発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やりたくない。つまらない。早く終わってほしい。 ・やらないとだめ。 <p>④「新しい生活様式」について、なかったらどんな世の中になっているのか発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勝手な行動をする人が増える。 ・コロナがもっと拡大している。 	<p>○プリントアウトしたお話を配布。教師が読み聞かせる。</p> <p>☆自分なりの意見をもっているか、また、自分とは異なる見方があることを感じているか。</p> <p>○お母さんの行動について、気持ちは理解出来るが、差別や偏見が、感染を隠すことにつながり、一層の感染の拡大を招きかねないことを伝える。</p> <p>※帰省した児童がいたり、地域によっては、帰省を受け入れる側になるが、帰省を経験した人への差別につながらないように配慮する。</p> <p>○なぜ約束や決まりごとが必要なのか、その理由や背景について感じられるようにする。</p> <p>☆どうしたらもっとみんなが気持ちよく生活できるか考えているか。</p> <p>（思考・判断・表現）【観察・発言】</p>
（見つける）	<p>３．「新しい生活様式」の意義について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのように行動してよいかわからないと、対策がとれないので、国から発表されている。 ・自分の身を守るだけでなく、相手を思いやることが「新しい生活様式」の意義。みんなにうつさないよう、みんなが守らないといけいない。 	<p>○「新しい生活様式」は押し付けられてするものではなく、相手を思いやる気持ちで、実施するものだと感じさせる。</p> <p>☆「新しい生活様式」の意義について考えられる。</p> <p>（知識・理解）【観察・発言】</p>
終末 （決める）	<p>４．一人ひとりがどうすればいいか考える。</p>	<p>○これから新型コロナの感染や拡大を防ぐために、日常的にできそうなことを宣言カードに記入する。</p> <p>☆「新しい生活様式」での気持ちよい行動について考え、自分の目当てを決めている。</p> <p>（思考・判断・表現）【宣言カード・発言】</p> <p>※体調や障害などによりマスクができない友達がいることも伝えておく。</p> <p>○資料「星はやさしく光っていた」を読む。</p>